

いわて便り

No.4

2016年9月29日発行

9月号

日本生協連
組合員活動部

8月に発生した台風10号によって被害に遭われた市町村に物資の支援やバスボランティアなどを懸命に行っています。全国からのお見舞いや募金など本当にありがとうございます。



台風10号被害への支援を行っています。

8月に発生した台風10号は観測統計以降初めて岩手県沿岸部に上陸し、東日本大震災で被害にあった沿岸12市町村に加え、内陸の市町村にも被害が広がりました。



緊急支援物資の要請に対応

岩手県の要請で孤立地区がある岩泉町へ水1500本他、水用ポリタンク、カップラーメン、簡易トイレ、タオル、歯ブラシ、除菌タオルなど、7万2千点以上の緊急支援物資の発送を行いました。また、岩泉町の福祉施設などから内陸の病院・福祉施設など15カ所への移動者へのパジャマ・肌着・衛生用品などのセットもお届けしました。



被害が大きかった地域へバスボランティアや炊き出し。

被害が大きかった久慈市や岩泉町などにバスボランティアや避難所での炊き出しを現地の要請に応え活動しています。台風被害から3週間以上も経過していますが、初めてボランティアが入ったお宅も多数あり、まだまだ大変な状況が続いています。





東日本大震災 復興支援 ふれあいサロン 毎月 55 回開催しています。

8月のふれあいサロンはお盆の時期も重なり、中止になったり、参加される方が少なかったりもしましたが、参加された方は各サロンともとても楽しんでいただけました。暑い日が続きましたが、ボランティアのみなさんはバスでの移動中やサロン活動中などこまめな水分補給を心がけ、また、ふれあいサロンに参加されている方にも水分を取ってもらうよう声掛けをしながら暑さに負けずに活動しました。

<宮古：鍬ヶ崎仮設>



牛乳パックとネクタイで
素敵なトレーづくり♪

竹からマイ箸
を作りました☆

<盛岡発：宮古あゆみ公園仮設>



オリジナルうちわができました！

<陸前高田：矢作中仮設>



<盛岡発：大船渡 宮田仮設>



コースター作ったよ

<一関発：サンビレッジ仮設>



ネクタイネックレス作り♪

**サロンボラン
ティアの声**

「ふれあいサロン」は組合員ボランティアが仮設住宅集会所などに伺って開催しています。内陸地域からは、2時間以上かけてバスで被災地に通っています。そんな活動をされているボランティアさんたちの声を紹介します。

集会場に前回作った、ふくろう2個と大きいふくろうが飾ってありました。支援員さんが型紙を倍にして作ったそうです。他の方も「うちも飾っているよ！毎回作品が増えて楽しい！」とおっしゃってくださいました。私も嬉しいです。(宮古市赤浜仮設)

お茶を飲みながら「新居の話」「家族の話」「墓を守ること」などいろいろとおしゃべりをしました。最近は何んでも話せるような空気があります。参加の皆さんに教えられることも多く感謝しています。(大槌町小鍬14仮設)

9月に仮設の取り壊しが始まるため8月が最後のサロンになりました。住民さん一人一人に向けた手紙を読み上げ「出会いへの感謝」を伝え「元気で再会する」ことを約束しました。(陸前高田市柳沢仮設)

発行

日本生協連 組織推進本部 組合員活動部
電話 03-5778-8124 Fax 03-5778-8125

担当

小池、住吉